

1 生きがいをもって生活できる環境づくり

【現状と課題】

日本人の平均寿命は年々伸びており、平成13年度、男性 78.07 歳、女性 84.93 歳です。このため、長い人生をいかに健康で生きがいをもって過ごすかが重要な課題であり、生きがいづくりへの支援が求められるところです。

このようなことから、高齢者自らの生活を健康で豊かにするために、ライフスタイルに応じて、文化・趣味の活動、教養・レクリエーション等の生涯学習活動や就労などさまざまな社会参加の機会が必要になっています。また、高齢者自らが経験と知識を生かして積極的な役割を果たしていけるような活動の機会や場を設けたりする環境づくりが求められます。

高齢者の地域活動として老人クラブがあり、平成14年5月現在、143クラブ（会員数 9,914 人）ありますが、比較的若い会員が少ないこと、加入者が増えないなどの課題があります。

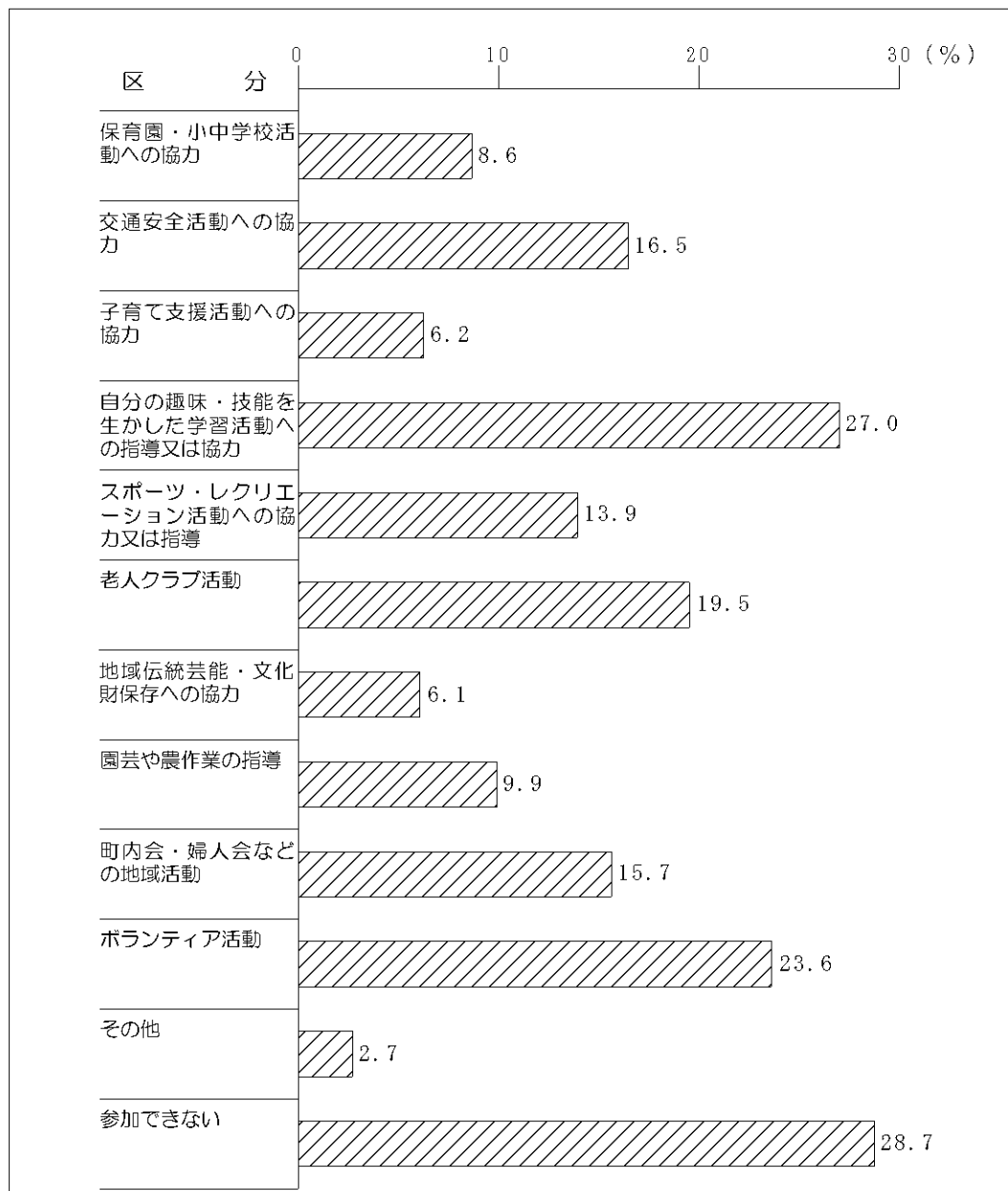
また、ボランティア活動も福祉に限らず、地域安全、環境、文化、スポーツなど多様化しており、このような活動への参加を促すとともに、その支援が求められています。

21 世紀半ばには、3 人に 1 人が高齢者になると予測されています。地域における高齢者の役割がますます大きくなるため、高齢者がこれまでに培った経験と能力を生かし、地域づくりの担い手となってボランティア活動や地域活動を推進していくことが期待されます。

高齢者が住み慣れた地域社会で安心して生活することができるよう、バリアフリーのまちづくりをめざして、平成7年度に「人にやさしいまちづくり推進計画」を策定し、歩車道の段差解消、公共施設に障害者用トイレの設置、店舗等の民間施設改善助成、モデル地区内の交差点に歩行者支援システムの設置などを推進してきました。

また、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」いわゆる交通バリアフリー法が平成12年に施行されるなど、高齢者が住み慣れた地域の中で、安心して生活できるよう、バリアフリーのまちづくりをめざして、利用しやすい住まい、道路、公共施設、交通手段等のより一層の整備促進が必要であります。

図2 地域活動への参加意向



平成13年12月春日井市高齢者実態調査

【基本的な方向】

高齢者がお互いに尊重し合い、心豊かに生きがいをもって生活することができるよう、生きがいづくりや、社会参加活動を促すとともに、高齢者自らが社会の一員として地域に根ざした活動のできる環境づくりを進め、支え合う地域社会の形成に努めます。

また、高齢者が地域社会で安心して生活ができるよう、バリアフリーのまちづくりをめざし生活環境の整備を進めます。

【施策】

(1) 社会参加活動の推進

○ 生涯学習活動への参加促進

高齢者の生涯学習活動の場として、公民館等の公共施設の活用を促すとともに、講座、教室等の充実を図り参加を促します。

○ ボランティア活動の支援

ボランティア活動への参加の啓発を行うとともに、市社会福祉協議会のボランティアセンターと連携を図りながら、ボランティア活動の総合的な活動・交流・情報の拠点としてボランティア支援センターを設置します。

○ 福祉の里レインボープラザの利用促進

高齢者を始め、幅広い市民のふれあい、健康づくり、生きがい活動の場として利用を促進します。

また、ひとり暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいと社会参加を図るため、ふれあいデイサービス^{※1}の利用を促進します。

※1 ふれあいデイサービス……福祉の里レインボープラザにて、家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、週1回レクリエーションや生活指導等を行う。

○ 総合福祉センター講座の充実

高齢者を対象とした、健康、生きがい、福祉、介護等の講座内容の充実に努めます。

○ シルバー優待証明カードの活用

高齢者に温水プールなどの施設が優待利用できるシルバー優待証明カードを発行し、高齢者の社会参加を促進します。

○ 文化・趣味活動の仲間づくりの支援

インターネットのホームページを活用した情報発信・情報交換により、文化や趣味の活動の仲間づくりを支援します。

○ シルバー人材センターへの加入促進

高齢者の就労による社会参加と生きがいづくりを推進するため、シルバー人材センター※¹への加入を促進します。

(2) 生きがいづくりへの支援

○ 熟年大学と高齢者学級の充実

高齢者を対象とした熟年大学※²、各公民館の高齢者学級※³については、社会の変化や多様化したニーズに応えるため、学習内容の充実に努めます。

※1 シルバー人材センター…高齢者の労働能力の活用と生きがいを図るため、就労希望者はセンターに登録し、企業等からの依頼により派遣する就労提供機関

※2 熟年大学…高齢者の生きがいと仲間づくりを図るため、おおむね60歳以上の人を対象に、「ゆとり」、「くらし」、「うるおい」の3コースで年16回開催

※3 高齢者学級…おおむね60歳以上の人を対象に、各公民館において健康・生きがい・仲間づくりをテーマに年11回開催

○ 自分史事業の推進

高齢者の貴重な体験を次の世代へ伝えるとともに、生きがいをもって自分の文化を創造していくことができるよう、自分史づくりへの参加を促します。

○ 市民農園の推進

快い労働により健康づくりと収穫の喜びを実感することによる生きがいづくりを促進するため、市民農園を実施します。

○ スポーツ・レクリエーション活動への参加

スポーツによる生きがいづくりと健康づくりを推進するため、気軽に取り組むことのできるレクリエーションスポーツ^{※1}やニュースポーツ^{※2}の紹介と普及を推進します。

また、全国的なスポーツ大会等に出場する者に激励費を支給するとともに、顕著な活躍者を顕彰します。

○ 指導者の活用

長年培った技能、知識を生かした生涯学習や体育の指導者として登録を促し、その活動機会を提供します。

○ 芸術文化の鑑賞・発表機会の拡充

すぐれた芸術・文化等にふれ生き生きと生活できるよう、鑑賞や発表の機会の拡充に努めます。

※1 レクリエーションスポーツ…余暇活動として行うスポーツで、競技スポーツに対して、誰でも気軽に参加できるレクリエーション的なスポーツ

※2 ニュースポーツ…オールドスポーツに対比する新しいスポーツで、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、インディアカ、ミニテニス、ペタンクなど

(3) 人にやさしいまちづくりの推進

○ 道路環境の整備

歩道の段差解消など高齢者や障害者に配慮した道路環境の整備を推進します。

○ バリアフリー施設の整備推進

エレベーターや多目的トイレ^{※1}の設置など高齢者や障害者等に配慮した公共施設等の整備を推進します。

○ 民間施設改善助成の活用

不特定多数の人が利用する既存の店舗等について、高齢者や障害者等が安全で円滑に利用できるように段差解消や多目的トイレの設置などの施設改善に対する助成制度の活用を促します。

○ 高齢者に配慮した公営住宅の整備推進

高齢者や障害者が安心して生活できるよう、市営住宅の再整備に合わせて高齢者や障害者の生活に配慮した住宅の整備を推進します。
また、高齢者が安心して生活できる公営住宅としてシルバーハウジング^{※2}の拡大について、関係機関に働きかけます。

○ 高齢者向け住宅の整備促進

高齢者が安心して住める住宅を確保するため、民間事業者による高齢者向け優良賃貸住宅やグループリビング^{※3}の普及を促します。

※1 多目的トイレ…障害者はもとより、オストメイトも利用できる洗浄シャワーや排出処理、ベビーシートが整備され、妊婦や乳児連れの人なども利用できる多機能型トイレ

※2 シルバーハウジング…バリアフリー化に対応するとともに、生活指導、相談、安否確認等を行う生活援助員を配置した公営住宅等

※3 グループリビング…高齢者が身体機能の低下を補うため、共同で生活することを目的とする居住形態

○ 移動支援の充実

高齢者の外出を支援するため、市内バス交通網の充実を図るとともに、順次ノンステップバスの導入を関係機関に働きかけていきます。

○ 交通バリアフリーの推進

JR高蔵寺駅においてエレベーター、エスカレーター及び多目的トイレの設置について支援するとともに、他の駅についても高齢者や障害者等が利用しやすい環境づくりを推進します。

(4) 地域福祉活動の促進

○ 地域における福祉活動の推進

地域福祉活動の担い手である地区社会福祉協議会の組織の充実と活動の活性化を促します。

また、地域において高齢者や障害者など弱い立場にある人々を見守り、お互い助け合う運動の展開について検討します。

○ 世代間交流活動の推進

すべての世代が助け合い、豊かな活力ある高齢社会を築くため、地域における子ども会、老人クラブ、婦人会などの活動を通じ、世代間交流の機会を促進します。

○ 老人クラブ活動の推進

老人クラブへの加入を促進し、高齢者の仲間づくり、趣味や教養・社会奉仕活動などを推進します。

○ 老人憩いの家・ふれあいの家の利用促進

地域における高齢者のふれあい活動のための拠点として、高齢者に使いやすい施設への改善を進め、健康づくりやレクリエーションの場として、またふれあいミニデイサービス※¹の場として活用するなど、利用を促進します。

※1 ふれあいミニデイサービス…家に閉じこもりがちな高齢者を対象にし、地域の老人憩いの家等で、地域の運営で行うデイサービス